

適切な施肥方法学ぶ

～尾上トマト部会栽培講習会～

尾上トマト部会（山口知治部会長）は3月29日、尾上基幹支店で栽培講習会を開きました。部会員14人が参加し、施肥作業などを学びました。

中南農業普及振興室の長谷川修主幹専門員が講師を務め、マグネシウムとカルシウムの施用方法や施用時の留意点など説明。肥料を正しい濃度で施用しない場合、根毛が弱まることにつながり、養分の吸収が悪くなるので注意するよう呼び掛けました。



施肥について学ぶ部会員

生産数量目標などを確認

～令和4年産米の生産調整に関する説明会～

3月7日、板柳地区の令和4年産米の生産調整に係る説明会を板柳町役場と沿川支店の2ヶ所で開きました。

生産調整は、米の需給バランスを保ち、米価の下落を防ぐ為にも達成に向けた取り組みが重要となります。役場担当職員が4年産米の生産数量目標などについて説明しました。後日、4年産米受付を3月8日から23日まで行いました。



生産調整の説明を聞く生産者（左）

生産者が出荷先へ米の説明

～パルシステム生活協同組合連合会学習会～

常盤地区では、特別栽培米のつがるロマンをパルシステム生活協同組合連合会へ予約登録米として出荷しています。予約登録米は、米を栽培する前から販売先を決めるシステムで、組合員が応援している産地の米を、数量を決めて購入することができます。

同連合会は3月下旬、取り扱っている米について理解を深めるため、職員向けのオンライン学習会を実施しました。生産者・消費者協議会の副部会長を務めている石澤光さんが講師として出席し、藤崎町や出荷している特別栽培のつがるロマンについて説明しました。

石澤さんは「予約登録米制度のおかげで生産者は安心して米づくりができる。この制度を多くの消費者に知ってもらうため、職員・生産者一丸となって頑張っていきたい」と話しました。



講師を務めた石澤さん